

～地域創生のリーダーを目指して～

平成27年度「地域のプラットフォーム」としての取組み

(地域密着型金融の具体的取組み)

平成28年3月

鹿沼相互信用金庫



はじめに



●鹿沼市・日光市の概要 位置/栃木県の北西部東京都心から約100km

	鹿沼市	日光市
土地面積	490.62km ²	1449.87km ²
山林	116.90km ²	124.75km ²
田畑	68.08km ²	57.61km ²
宅地	25.88km ²	23.98km ²
人口 <small>(平成28年3月31日現在)</small>	99,726人	85,782人
世帯数 <small>(平成28年3月31日現在)</small>	38,425	36,426
事業所数 <small>(平成27年11月30日現在)</small>	4,855	4,562
製造業出荷額 <small>(平成25年12月31日現在)</small>	3,820億円	3,219億円
卸売業・小売業販売額 <small>(平成26年7月1日現在)</small>	1,937億円	977億円

■参考資料・「栃木県統計年鑑平成26年度版」より

●鹿沼相互信用金庫の概要 平成28年3月末現在

設立	大正14年10月27日		
所在地	鹿沼市上田町2,331番地		
役員	247名	出資金	1,476百万円
預金残高	201,366百万円	貸付残高	94,230百万円
店舗数	12店舗	主な営業エリア	鹿沼市、宇都宮市、日光市、栃木市(旧西方町)



1. 求められる役割と具体的施策



(1) 地域密着型金融推進の3つのテーマ

- ① 顧客企業に対するコンサルティング機能の発揮
- ② 地域の面的再生への積極的な参画
- ③ 地域や利用者に対する積極的な情報発信

(2) 地域のプラットフォームを目指した4つの具体的施策

- ① 広域連携
- ② 産学官金の連携
- ③ 外部機関の活用
- ④ 地域金融の円滑化



事業づくり

企業づくり

産業づくり



地域づくり
地域の
プラットフォーム

(3) 地方創生への参画

- ① 地方版総合戦略策定への参画
- ② 企業の経営課題解決への支援

1.求められる役割と具体的施策

■事業づくり、企業づくり、産業づくりをとおして地域づくりを担うプラットフォームを目指す。



コンサルティング機能の発揮・地域の面的再生・情報発信

2. 具体的な取組み事例 広域連携



(1) 信用金庫や地域金融機関ネットワークの活用による販路拡大

① 信金中央金庫による支援策の活用

観光誘客のためのPDF「悠久の地・日光への誘い」の発信(平成25年6月) … 中小企業支援部ネットワーク推進室

海外への工場進出・販路拡大(タイ・ベトナム・アメリカ等) … 海外業務支援部

② 信用金庫ネットワークを活かした観光誘客の推進

日光市、(一社)日光市観光協会との連携による観光誘客

(平成28年3月末現在)

年度	誘客信用金庫・団体	誘客合計人数
平成24年度	6信用金庫・1団体	計1,431名
平成25年度	4信用金庫	計2,873名
平成26年度	13信用金庫・2団体	計1,582名
平成27年度	23信用金庫	計10,135名

観光連携ファムツアーの実施(平成26年2月11日・12日)

全国21信用金庫1信用金庫協会 計29名参加

徳川家康公とゆかりのある8信用金庫との連携による観光誘客

平成27年11月1日 8信用金庫間で「地域活性化に向けた業務連携に関する覚書」の締結





③ 栃木県内金融機関の連携によるビジネスフェア等の開催

平成27年 11月17日	「ものづくり企業」展示・商談会への共催	主催: 足利銀行 共催: 県内信金・信組	取引先顧客 15社参加
平成28年 1月19日	「とちぎ食と農」の展示・商談会への後援	主催: 栃木県・足利銀行 後援: 県内信金・信組	取引先顧客 6社参加

④ 信用金庫の連携によるビジネスフェアへの参加

平成27年 6月10日	埼玉縣信用金庫「さいしんビジネスフェア2015」	取引先顧客 1社・2団体参加
平成27年 7月22日	浜松信用金庫「ビジネスマッチングはままつ2015」	取引先顧客 4社参加
平成27年 10月6日	しのめ信用金庫「第3回 フードビジネス個別商談会」	取引先顧客 8社参加(バイヤー含)
平成27年 11月5日	東北信用金庫協会「ビジネスマッチ東北2015」	取引先顧客 2社・1団体参加
平成27年 11月6日	東京東信用金庫「ひがしんビジネスフェア2015」	取引先顧客 5社参加

⑤ 東京東信用金庫との「業務提携基本協定書」締結

平成27年12月16日 ビジネスマッチングや観光連携などによる取引先支援、両金庫の業務推進を目的に「業務提携基本協定書」を締結

⑥ 海外展開への支援策の活用

平成28年 3月17日	ジェトロ食品輸出商談会in栃木	主催: 日本貿易振興機構(ジェトロ) 栃木貿易情報センター	取引先顧客 1社参加
----------------	-----------------	----------------------------------	---------------



2. 具体的な取組み事例 産学官金連携



(1) 公共団体・商工会団体・大学などを活用した地域活性化

<p>① とちぎ観光リーダー育成塾への参加</p> <p>主催 栃木県 事業期間 平成23年度～平成27年度(5年間) 事業趣旨 平成20年度の観光庁の発足に伴い、「新とちぎ元気プラン」が策定された。新とちぎ観光プラン「観光でまちを元気に!」がスタートし、「とちぎ観光リーダー塾」へ信金業界として参画することとなった。 人員派遣 1名(平成23年度)鹿沼相互信用金庫 1名(平成24年度)栃木信用金庫 1名(平成25年度)足利小山信用金庫</p>	<p>② フードバレーとちぎ観光地商談会への参画</p> <p>主催 栃木県フードバレーとちぎ推進協議会 開催日 平成28年3月 出展数 フードバレー協議会会員 内容 展示・商談会 協力内容 後援 出展者募集・支援</p>	
<p>③ 鹿沼市経済部との連携</p> <p>事業 東京スカイツリーにおける「かめまそば天国」と「鹿沼秋祭り」への観光誘客 主催 鹿沼市 事業期間 平成27年8月7日～8月13日 参加人員 延べ6名(うち金庫2名) リーフレット配布約2,000枚 協力 (株)東武トップツアーズ</p>	<p>事業 「鹿沼のチカラ展2016」協力・準備 主催 鹿沼市 事業期間 平成27年9月～ 参加人員 2名 協力 桐生市フェア視察(10月) つくば市フェア視察(2月)</p>	<p>日光市産業環境部・観光部との連携</p> <p>平成27年11月5日 「東北ビジネスマッチ2015」での企業誘致、観光PR</p> <p>★ 平成26年11月23日 日光市市政産業功労賞(観光誘客)受賞</p>
<p>④ 国のすすめる「地域プラットフォーム」事業への参画</p> <ul style="list-style-type: none"> ●「かめま広域支援ネットワーク」(鹿沼商工会議所代表機関) ●「とちぎ未来創造カンパニー」(宇都宮商工会議所代表機関) 	<p>⑥ 産業競争力強化法に基づく取組み</p> <p>栃木県事業引継ぎ支援センターとの秘密保持契約締結(平成27年1月15日) かめま創業支援ネットワークへの参画(平成27年8月3日キックオフ会議参加)</p> <ul style="list-style-type: none"> ●創業スクールへの参加 <p>主催 鹿沼商工会議所 開催期間 平成27年9月17日、26日、10月3日、8日、17日、22日、28日、11月5日、12日、19日 計10回 受講者数 本部職員1名</p>	
<p>⑤ 「学生&企業研究会」への協賛後援</p> <p>主催 大学コンソーシアムとちぎ・産学官連携サテライトオフィス 開催日 平成27年11月28日 協力内容 後援、協賛(理事長賞) 審査員参加</p>		



2. 具体的な取り組み事例 産学官金連携

⑦ 産学官金連携サテライトオフィス事業委員会の活用

新製品の効果検証

医療用具製造業者 A社

検証内容 ポリエステル製綿球の、製造工程で発生する物質の吸収を防ぐ研究。透析患者向け綿球市場への新商品提案が可能に。
紹介先 宇都宮大学・自治医科大学

新技術・新工法の効果検証

建設業者 B社

検証内容 建設現場における手押台車のロボット化の開発
紹介先 宇都宮大学大学院

建設工法の効果検証

建設業者 C社

検証内容 構造物への新技術による工法の検証
紹介先 サテライトオフィス⇒宇大工学部

⑧ 栃木県産業振興センター知的財産支援部の活用

医療用具製造業者 D社

検証内容 特許知財をもとにした事業評価書作成支援
紹介先 特許庁・他

⑨ コミュニケーションポスター作成

事業内容 各地の地域振興に貢献する「人」にスポットを当てて紹介(平成24年度)
企業応援シリーズ(平成25年度～)

掲示期間 平成22年9月～現在

作成実績 「街のいきいきさん」シリーズ全8部 「匠」シリーズ全8部 「企業応援」シリーズ全3部

「街のいきいきさん」シリーズ



「匠」シリーズ



「企業応援」シリーズ



街の
いきいきさん
応援します!



⑩ 「第9回かめましんきん経済セミナー」の開催

開催日 平成28年2月23日(火)

講師 江上 剛

参加者 217名(119社)

演題 「起死回生-時代を生きぬく経営力」

会場 ニューサンピア栃木

2. 具体的な取組み事例 産学官金連携



(2) 地方創生への取組み

地方版総合戦略の策定・関与状況

① 鹿沼市・日光市との連携・取組み

<鹿沼市>		
平成27年6月15日～	鹿沼市創生市民会議	担当部2名派遣
平成27年7月3日～	鹿沼市総合計画審議会	担当役員、担当部長1名派遣
平成27年7月16日	かめま創生に関する意見交換会	当金庫職員20名参加
平成27年9月25日 平成27年10月29日 平成27年11月27日	地方創生事業「平成27年度人材誘致推進事業」 (地方創生先行型交付金事業)	担当部長1名派遣(審査員として)
平成27年10月23日	鹿沼市と「地方創生に関する包括的連携協定」の締結	
平成27年11月21・22日	「ふる里あわの秋祭り・合併10周年記念」参画	本部・栗野支店職員6名派遣
平成28年2月27～29日	「とちぎ花フェスタ2016inかめま」誘客協力	関東地区管内4金庫70名の誘客
<日光市>		
平成27年5月7日～	まち・ひと・しごと創生総合戦略策定委員会	営業店副支店長1名派遣
平成27年12月2日	「日光市観光推進協議会誘客推進部会」開催	本店職員1名専任派遣

★「地域情報掲示板」を2月1日より全店に設置。

(3) かめましんきん「ビジネススクール」の開催(若手経営者向け)

外部委託協力機関	株式会社ナベ経営
開催期間	平成27年5月13日、7月14日、9月15日、11月6日、11月13日、平成28年2月18日 計6回
受講者数	44名(2月18日受講終了)

2. 具体的な取組み事例 外部機関



(1) 関東経済産業局が進める「金融連携プログラム」(ミラサポ)等の活用

① 関東経済産業局による出前研修の開催

開催日 平成28年2月5日
 内容 金融連携プログラム・中小企業支援策
 講師 関東経済産業局
 参加者 営業店、本部役職員 鹿沼市、日光市、各商工団体職員

② 中小企業支援ネットワーク事業の活用

ネットワークアドバイザー・専門家派遣(ミラサポ)の活用 平成27年度 計9件

内訳 ●農商工連携等 ●経営改善・再生 ●海外展開支援 ●事業継承
 ●節電・省エネ ●経営革新 ●地域資源活用 ●その他

③ 関東経済産業局・栃木県による中小企業支援補助金の活用

■平成26年度 ものづくり補助金			■平成27年度 新ものづくり補助金			■平成28年度 ものづくり補助金			■平成26年度 創業補助金		
第一次募集	24件申請	15件採択	第一次募集	18件申請	11件採択	募集	24件申請(予定)	未定	当金庫受付分	5件申請	2件採択
第二次募集	20件申請	4件採択	第二次募集	17件申請	9件採択	栃木県フードバレーファンド助成金 南米の果物「ペビーノ」を活用した農商工連携による加工品の生産販売 ■平成24年11月採択			提携先受付分	2件申請	1件採択
申請取引先		19件採択	申請取引先		20件採択				■平成27年度 創業・第2創業補助金		当金庫受付分
									提携先受付分	1件申請	—

※年度は金庫の取扱年度の実績となります。

④ 「経営相談会」の開催

●栃木県中小企業診断士会(よろず支援拠点)からの派遣
 開催日 平成28年3月8日・9日の2日間
 取引先顧客企業10社参加

⑥ 「とちまる6次産業化成長応援 ファンド」の組成活用平成25年9月～

●平成26年度実績 2件 ●平成27年度実績 0件

⑤ 企業再生ファンド「とちぎネットワークファンド」の組成活用

平成25年9月27日～

⑦ 地域経済活性化支援機構(REVIC)の専門家派遣活用平成27年3月～

●平成27年度実績 2件(内完了1件)

2. 具体的な取組み事例 地域金融の円滑化



① ㈱日本政策金融公庫(国民生活・中小企業・農林漁業)との連携と情報交換

協調融資による資金繰りの支援

- 創業支援セミナーの開催(後援)平成27年9月16日
- 海外展開セミナーの開催(後援)平成28年3月1日

② 当金庫独自の地域企業支援検討会の開催による資金繰りの支援

平成24年度	実績	4,508百万円	(462件)
平成25年度	実績	5,223百万円	(507件)
平成26年度	実績	5,704百万円	(527件)
平成27年度	実績	5,610百万円	(510件)

③ 平成27年度地域創生応援資金の活用平成28年3月末現在

●創業・開業資金「創世起」	12件	39百万円
●地域支援資金「力」	72件	176百万円
●農業者向け資金「大空」	12件	22百万円
●太陽光発電事業支援資金	33件	850百万円
		など

④ 栃木県・各市融資制度等保証協会の活用平成28年3月末現在

●融資承諾実績 531件 3,796百万円

⑤ 専門的な人材の育成や活用

《国家資格取得者》	《栃木県中小企業再生支援協議会出向》
●社会保険労務士 1名	●職員 1名
●宅地建物取引主任者 8名	
●AFP 5名	
●FP技能士1級 1名	
●FP技能士2級 12名	
《農業経営アドバイザー資格の取得》	
●24年度1名取得	●25年度2名取得
●26年度2名取得	
	計5名取得

3. 信用金庫役職員に求められること ～地域創生のリーダーを目指して～



(1) 地域社会の持続的な発展に貢献する **中長期的な取組み**

(2) 貢献するために必要な収益と取引基盤を確保する

短期的な取組み

(3) 全役職員がいきいきとその力を発揮できる金庫を創る

組織を活用する

5年・10年先を見据えた課題

- ①金融仲介機能の質の改善に向けた取組み
- ②地方創生に向けた金融仲介の取組みに係る多様なベンチマークの検討
- ③事業性評価及びそれに基づく解決策の提案・実行支援
- ④持続可能なビジネスモデルの構築及びビジネスモデルに起因するリスクへの対応
- ⑤持続可能性を支える経営管理体制の強化

地方創生への積極的な関与



地域経済の活性化

収益の確保